

「摘出下垂体腺腫組織を用いた分子生物学的解析」にご協力いただいた方へ

2021年12月6日
千葉大学大学院医学研究院
分子病態解析学 田中知明

現在、千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学では、「傍鞍部頭蓋底腫瘍及び、悪性神経膠腫組織を用いた分子生物学的解析による腫瘍の形成と機能的分化における分子病態の検討」に関する研究を行っています。今後、病気の病態解明に役立てることを目的に、この研究では摘出下垂体腺腫組織を用いた分子生物学的解析による下垂体腺腫の形成と機能的分化における分子病態の検討の研究にご協力いただいた方の検体を利用させていただきます。検体がこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「傍鞍部頭蓋底腫瘍及び、悪性神経膠腫組織を用いた分子生物学的解析による腫瘍の形成と機能的分化における分子病態の検討」

2. 研究の意義・目的

頭蓋内腫瘍の研究・解析において、腫瘍の遺伝子・タンパク質は腫瘍の性質を決定するのに重要な要素となります。しかし、頭蓋内腫瘍に対する遺伝子・蛋白質を網羅的に解析した報告はまだないことから、この研究を通して新たな知見が得られることが期待されます。

臨床上有用な結果が得られれば、新たな治療法に結びつく可能性があり、その場合、医学の発展にとって大きな利益となることが期待されます。

1. 対象

- a) 千葉大学医学部附属病院 脳神経外科において、2016年4月1日から2021年3月31日の間に、「摘出下垂体腺腫組織を用いた分子生物学的解析による下垂体腺腫の形成と機能的分化における分子病態の検討」の研究にご協力いただいた方全員。
- b) 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 間脳下垂体外科において、2016年4月1日から2021年3月31日の間に、「先端巨大症の臨床形質形成にかかわる遺伝子異常の探索」の研究にご協力いただいた方全員。
- c) 森山脳神経センター病院 脳神経外科において、2016年4月1日から2021年3月31日の間に、「摘出下垂体腺腫組織を用いた分子生物学的解析による下垂体腺腫の形成と機能的分化における分子病態の検討」の研究にご協力いただいた方全員。

2. 利用させていただくもの

摘出下垂体腺腫組織を用いた分子生物学的解析による下垂体腺腫の形成と機能的分化における分子病態の検討の研究にご協力いただき、提供いただいた腫瘍検体と血液検体の一部を利用して

いただきます。

3. 研究の方法

摘出下垂体腺腫組織を用いた分子生物学的解析による下垂体腺腫の形成と機能的分化における分子病態の検討の研究に提供いただいた検体の一部から遺伝情報（DNA と RNA）と蛋白質の情報を抽出します。得られたそれらの情報を AI による機械学習などを通して、分類し有用な規則やルールを探します。解析の際には、検体の一部と得られた情報を共同研究機関（東京大学大学院新領域創成科学研究科 メディカルゲノム専攻 ゲノム制御医科学分野 / 東京都健康長寿医療センター病理診断科 / 東北大学大学院医学系研究科・医学部 病理診断学分野 / 京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学講座）においても解析します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。特に、今回は既に匿名化された試料を利用して研究を行います。匿名化された情報は研究責任者の千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学教授 田中知明をはじめ関係者が責任をもって管理します。成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学講座の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究に試料・診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、試料は使用しません。また、試料の使用後でも原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。試料・診療情報の使用を拒んだ場合でも不利益は生じません。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関：千葉大学医学部附属病院
本件のお問合せ先：千葉大学大学院医学研究院分子病態解析学
043 (226) 2170 内線 5450